



祝詞川便り

24年度第1号
1 ページ



震災から1年被災地の皆様の一日も早い復興と再生を願うばかりです、私たちも微力ではありますが皆様と共に力を合わせ支援の輪を広げていきましょう。

今年もホタル祭りが6月9～10日の2日間(絆)をテーマに行います。『絆とは人と人との断つことの出来ない繋がり離れがたい結びつき』辞書調べ

役員会員の皆様ご協力よろしく申し上げます。今回はホタルを違った観点から見てみたいと思います

ホタルが人間の靈魂の姿であると云う伝えは多い「物思えば沢のホタル我が身よりあくがれいづる魂かと

ぞ見る」と和泉式部の歌があるがホタルを身体から遊離した魂であると詠んでいます、伝説にも非業の死を告げた人の怨霊化した話は多くあります、ホタルはこの

ような譬え話によく使われますね。又源氏物語には光源氏が「たまかずら」をホタルの明りで照らして

「ひょうぶきょう」の宮を悩ます場面があり口マンチックですね～生物学的には発光組織の発光

細胞にある発光物質ルシフェリン・ルシフェラーゼの作用による酸化発光これがホタルが光る原因、でも私には

発光に関しては理解しがたいです。[ヤフージャパンと朝日新聞による] 参照

今年2月26日吉田 道男さんと森本 悟さんに

カワナに餌を与えて頂きました、気温13℃水温8℃少し肌寒い日でしたが例年であれば彼岸頃に与える

のですが今年は少し早い目に2日程で食べつくしました彼岸頃から上陸に向けて一番カワナを食するとき

今年も順調に幼虫が育っています。今年もかなり数が飛来してくれとおもわれます、「期間5月の末から6月

20日頃まで」どうか皆様お楽しみ頂きたいです。※今年からホタル愛好会の副会長に昨年までお世話

になった相原恒彦さんから吉田道男さんにお世話になることになりました。会の皆様よろしく申し上げます。



※ 螢見学 螢狩りなど風流な遊びは外国に例を見ないと
言われています。でも外国人が螢を見て日本に永住したい
と思わせたのもゲンジホタルです。
「風流とは上品でおちついた趣があること、又それに親しむ
こと」そのような気持ちでホタルをご覧ください。
参考 ヤフージャパン、朝日新聞より